

北海道（道内港分）における 農林水産物・食品の輸出額 （2025年1～6月（上半期））

2025年8月8日

農 林 水 産 省

北海道農政事務所

2025年1～6月（上半期） 北海道（道内港分）における農林水産物・食品の輸出額

【概要】

2025年1～6月（上半期）における北海道（道内港）からの農林水産物・食品の輸出額は、437億円（対前年比+27.2%）となりました。

内訳として、

農産物は、89億円（対前年比▲6.5 %）、

林産物は、9億円（対前年比▲20.4 %）、

水産物は、339億円（対前年比+42.8%）、

となり、主にホタテ貝をベトナム、タイ等向けに輸出先国の転換が進んだ結果、その増加額が全体を押し上げ+27.2%となりました。

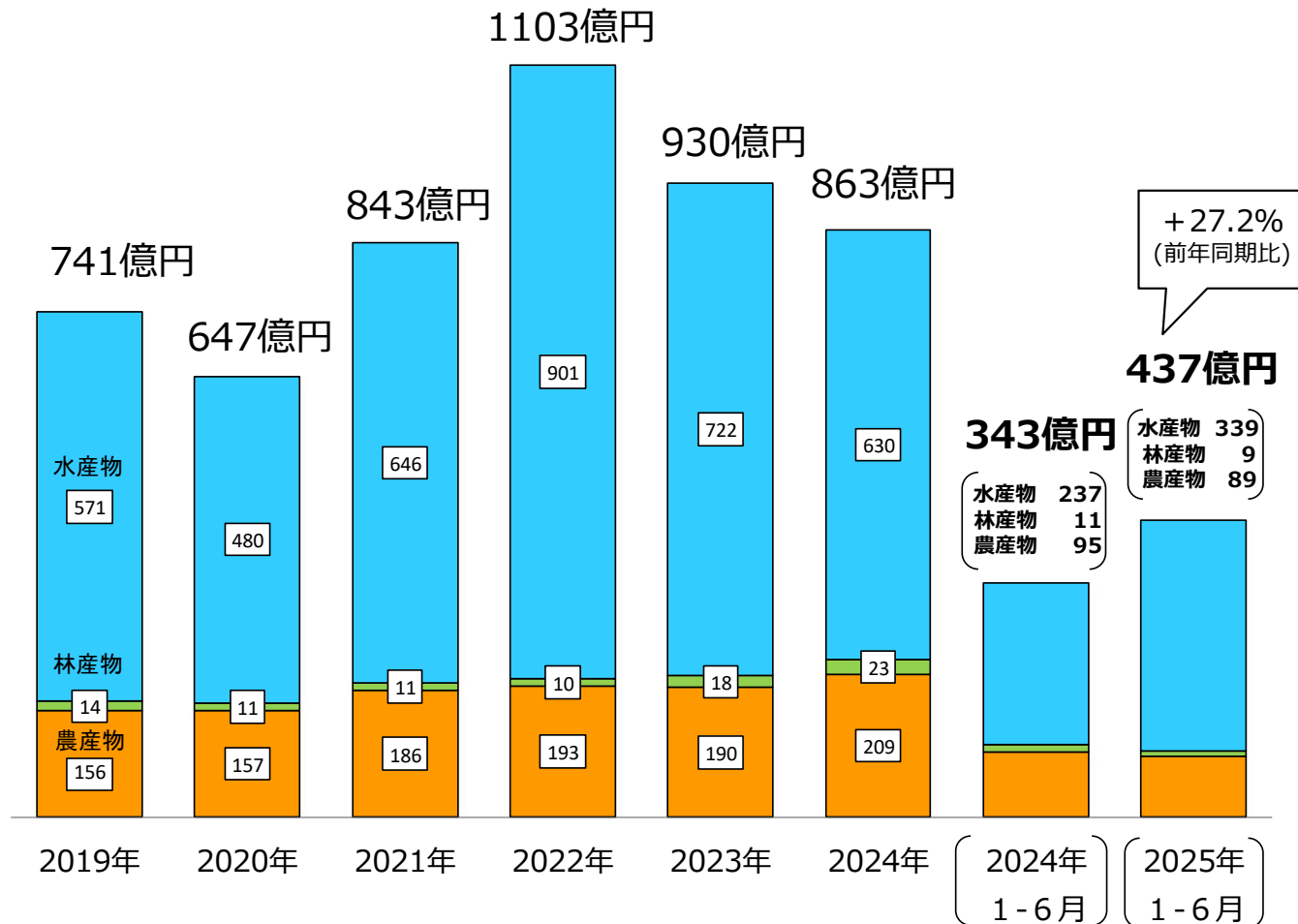
国別には、ホタテ貝の輸出先国転換を進めた結果、米国が1位（昨年2位）、ベトナムが2位（昨年1位）、タイが4位（昨年5位）、中国が7位（昨年8位）などと変動しました。

（注）財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所が作成。北海道内の税関（港・空港）から輸出された分のみ。
食品（菓子等）のほか、農産物（豚の皮等）、林産物（丸太等）、水産物（真珠、魚油等）が含まれる。

北海道（道内港分）における農林水産物・食品 輸出額の推移

北海道の特徴として、水産物が大半を占めており、2023年8月以降、中国による水産物輸入規制等を受け、2024年に減少傾向となっていました。

その後、ベトナム、タイ向けに輸出先国の転換が進んだこともあり、2025年上半期は+27.2%と増加に転じました。



農産物で増加額の大きかった主な品目（2025年1－6月）

農産物で増加額の大きかった品目は、清涼飲料水、ベーカリー製品、チョコレート菓子といった加工食品や米でした。

	品目名	増加額	増加率	主な要因
1	清涼飲料水等	+390百万円	+ 57%	アジア等向けが健康志向の高まりにより健康飲料を中心に増加。
2	米	+132百万円	+21%	米国や香港等において、日本食レストランの増加等、外食向けを中心に需要が増加
3	ベーカリー製品類	+107百万円	+28%	アジア向けに好調
4	チョコレート菓子	+37百万円	+ 6%	アジア向けに好調

（参考）水産物で増加額の大きい主な品目

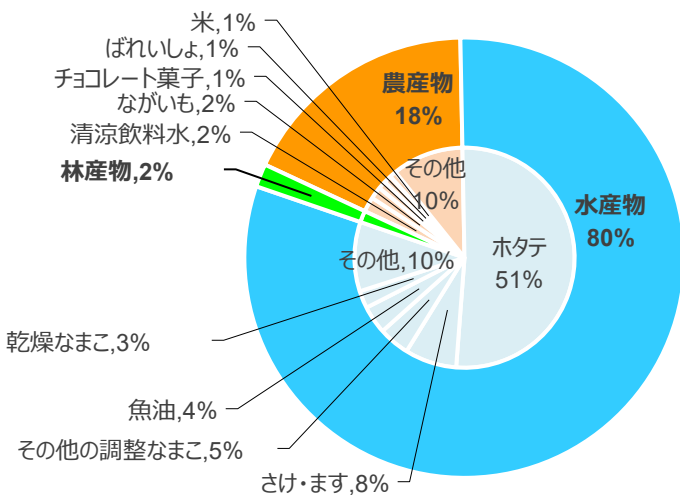
	品目名	増加額	増加率	主な要因
1	ホタテ貝	+9,680百万円	+ 77%	米国向けが米国産ホタテ貝の減産に伴う日本産ホタテ貝の需要の高まりにより増加したほか、ベトナムやタイ等向けが中国の日本産水産物輸入停止による輸出先転換により増加。

品目別輸出実績の推移

23年上半期から24年上半期にかけては、中国の水産物輸入規制等による影響のため、ホタテ貝の割合が減少しましたが、25年上半期では持ち直しました。

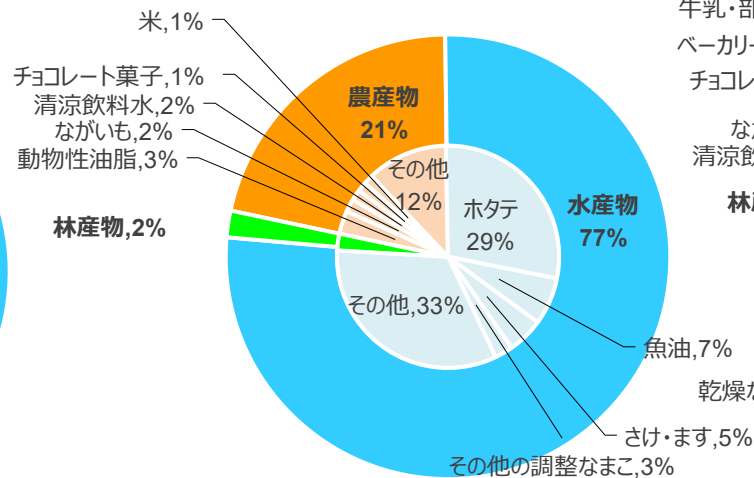
農産物の上位品目の構成は、ばれいしょは豊凶の変動によるものであり、米、ながいも、そしてチョコレート菓子、清涼飲料水といった加工食品は安定しています。

2023年上半期



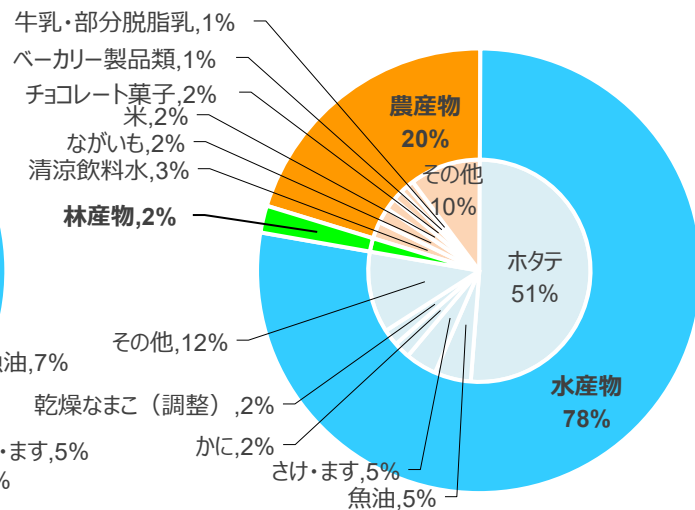
495億円

2024年上半期



343億円

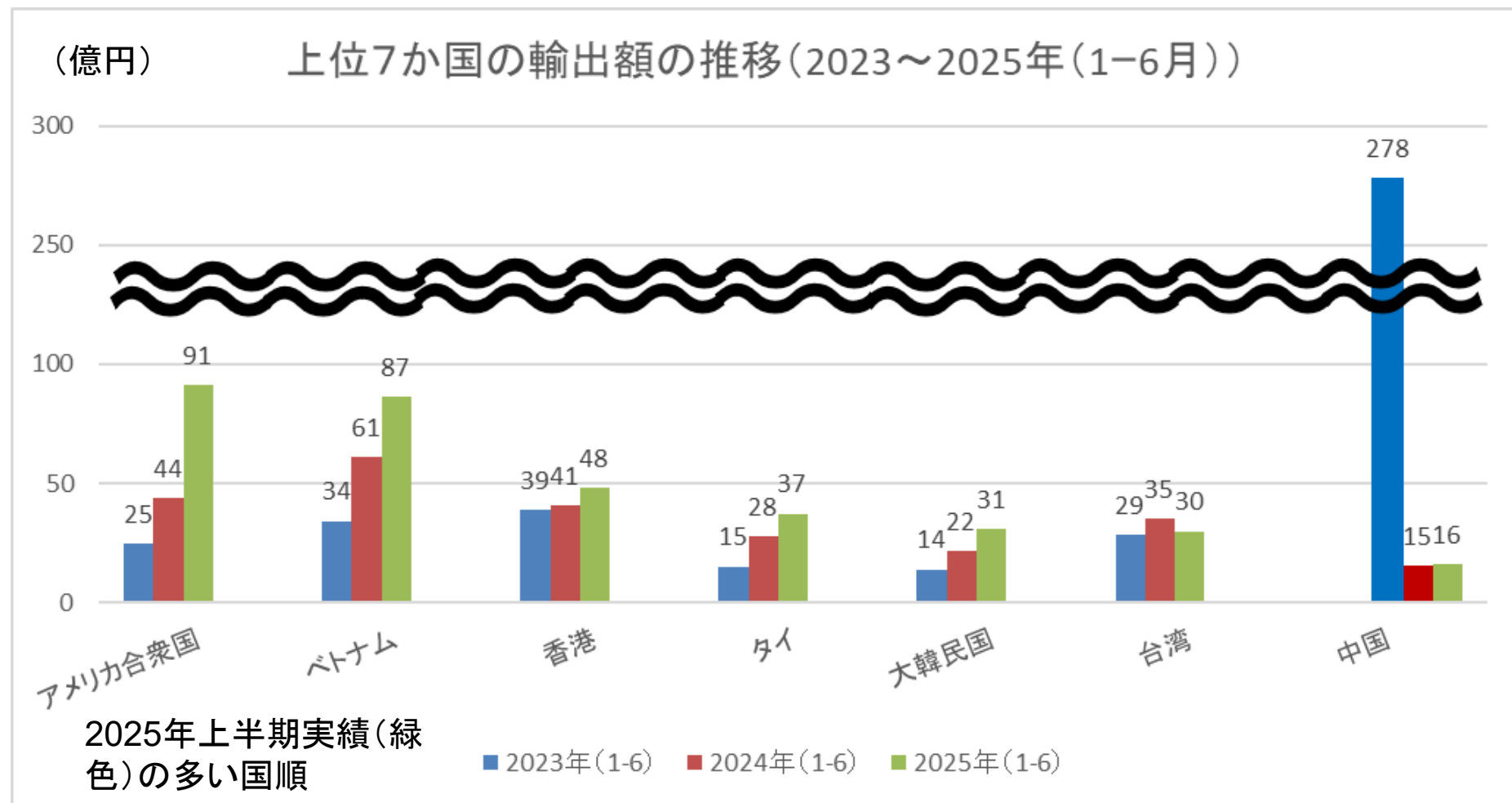
2025年上半期



437億円

国別輸出実績の推移

国別に見た場合、上位5か国は増加傾向で推移していますが、中国が水産物禁輸の影響で23年以降大幅減となっています。



2025年の北海道（道内港分）における農林水産物・食品 輸出額（1-6月）品目別

品 目		金 額 (百万円)	前年同期比 (%)
農 産 物	加工食品	3,902	+22.2
	ビール	37	+18.1
	清酒	55	+133.5
	その他アルコール飲料	113	▲6.8
	調味料	213	▲5.5
	ソース混合調味料	74	▲26.3
	調製食料品	715	+28.7
	清涼飲料水等	1,082	+56.5
	菓子（米菓、チョコレート菓子、ワッフル・ウエハースを除く）	165	+5.0
	チョコレート菓子	657	+6.0
	ベーカリー製品類	483	+28.4
	畜産品	1,904	▲38.6
	牛肉	230	+23.6
	豚肉	261	▲20.1
	鶏肉	1	▲72.6
	鳥卵・卵黄	89	+234.3
	酪農品	644	▲9.8
	牛乳・部分脱脂乳	439	▲9.0
	粉乳等	177	▲18.3
	動物性油脂	386	▲74.4
	原皮	272	▲10.9
	穀物等	1,184	▲12.4
	穀物	749	+21.6
	米	747	+21.5
	穀粉調製品	350	▲50.8
	麦芽エキス、穀粉等	78	▲64.8
	即席麺	12	▲19.5
	パスタ類	235	▲46.6
	野菜・果実等	1,643	+12.7

品 目		金 額 (百万円)	前年同期比 (%)
林 産 物	果実・その調製品	330	+47.7
	野菜・その調製品	1,313	+6.4
	野菜（生鮮・冷蔵・乾燥）	1,008	+14.4
	たまねぎ及びシャロット	0	－
	ながいも	974	+14.3
	その他の野菜調製品	305	▲13.8
	ばれいしょ	243	▲14.3
	その他農産物	251	▲37.9
	配合調製飼料	80	▲62.1
	林産物	855	▲20.4
水 産 物	素材（丸太）	499	▲21.5
	製材	166	▲28.3
	水産物（調製品除く）	31,777	+52.5
	ホタテ貝	22,335	+76.5
	さけ・ます	2,001	▲14.6
	たら	634	+140.8
	すけそうだら	166	+8.7
	いわし	293	+173.3
	さんま	129	+29.7
	ひらめ・かれい	52	+14.9
	かに	1,055	+79.9
	いか	84	+597.7
	たこ	139	+991.4
	魚油（肝油除く）	2,314	▲24.6
	水産調製品	2,138	▲26.4
	貝柱（調製）	309	+0.9
	乾燥なまこ（調製）	1,041	+10.5
	その他の調製なまこ	519	▲56.4
	キャビア及びその代用物	54	▲30.8

2025年の北海道（道内港分）における農林水産物・食品 輸出額（1-6月）国・地域別

順位	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳(億円)			主な輸出品目（下段は全体に占める割合）		
					農産物	林産物	水産物	1 位	2 位	3 位
1	アメリカ合衆国	91.1	20.9	+108.5	8.7	0.6	81.7	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 82.5%	かに（活・生・蔵・凍） 5.7%	米 2.8%
2	ベトナム	86.5	19.8	+41.1	3.9	0.0	82.7	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 63.6%	さけ・ます 12.8%	ぶり 2.7%
3	香港	48.0	11.0	+18.5	14.7	0.1	33.2	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 29.3%	なまこ（調製） 27.9%	牛乳・部分脱脂乳 8.8%
4	タイ	37.3	8.5	+34.9	2.9	0.7	33.7	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 59.4%	さけ・ます 19.6%	その他軟体動物 4.3%
5	大韓民国	30.7	7.0	+42.0	7.8	4.1	18.8	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 41.9%	丸太 12.8%	動物性油脂 9.4%
6	台湾	29.9	6.9	▲14.2	10.2	0.0	19.6	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 27.7%	ながいも 23.7%	魚粉等 18.7%
7	中華人民共和国	16.2	3.7	+4.8	14.5	1.4	0.2	清涼飲料水等 42.6%	果実缶・びん詰類 16.3%	ベーカリー製品類 9.8%
8	マレーシア	12.7	2.9	▲22.0	2.5	0.0	10.1	魚油（肝油除く） 59.3%	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 12.2%	その他の魚 7.9%
9	カナダ	12.4	2.8	+142.4	0.3	0.0	12.1	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 96.4%	米 1.7%	かに（活・生・蔵・凍） 0.9%
10	チリ	11.5	2.6	+5.7	0.0	0.0	11.5	魚油（肝油除く） 100.0%	－ －	－ －
－	E U	28.3	6.5	+9.5	11.0	0.4	17.0	ホタテ貝（生・蔵・凍・塩・乾） 59.8%	調製食料品 14.1%	パスタ類 7.1%

農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- GFP（ジー・エフ・ピー）**は、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称。
農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る
「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、専門家による輸出診断、事業者同士のマッチング、セミナーの開催や、
規制など輸出に関する各種情報提供等の支援を実施。



GFP登録者へのサービス提供

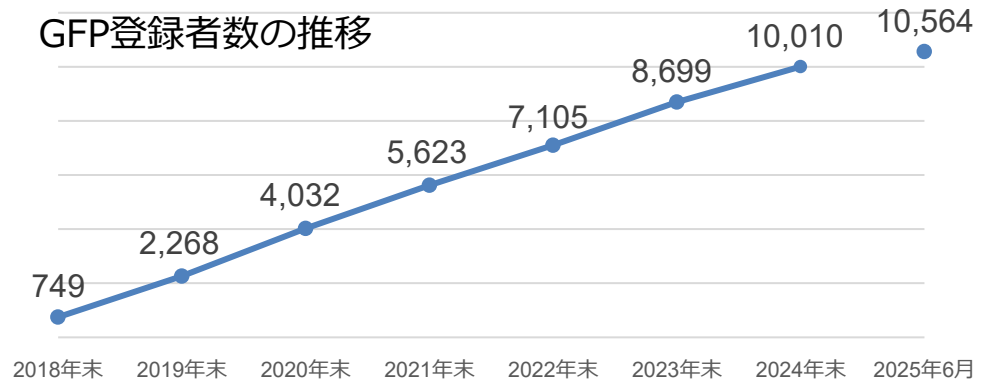
- 農林漁業者・食品事業者へのサービス**
 - ・ 専門家による無料の輸出診断
 - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・ 輸出のための産地づくりの計画策定の支援
 - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供
- 輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス**
 - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

GFPの登録状況（6月末時点）

GFP登録者の内訳

区分	登録者数
農林水産物食品事業者	5,842
流通事業者、物流事業者	4,722
合計	10,564

GFP登録者数の推移



GFP北海道の取組

- 北海道農政事務所では、令和4年11月、全国初の地方版GFP「GFP北海道」を発足。
- 北海道内の農林水産事業者・食品事業者等、これから輸出に取り組もうとする初心者から経験者まできめ細かくサポート。



令和7年度の取組

4年目となる本年度は、初開催の地域である釧路市をはじめ、札幌市、旭川市で開催。各地域の得意分野である日本酒、米加工品、牛乳・乳製品等に着目して展開。

右記のイベントのほか、10月の大規模国際会議、そしてインバウンドが集中する2月、に北海道産食品のニーズ調査を実施予定。



GFP北海道 輸出セミナー&商談会 産地視察ツアー

参加
無料

農林水産省北海道農政事務所では、農林水産物・食品の輸出拡大を目指した輸出セミナーおよび商談会を実施します。また、セミナー・商談会の翌日には商社・バイヤー向けの産地視察ツアーを行います。これから輸出に取り組む方も、販路拡大したい方にも、必見のイベントです。参加は無料、多くのご参加をお待ちしております。

SEMINAR セミナー

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）から講師を招き、日本における輸出環境やシンガポールをはじめとする東南アジアの食品事情、生活習慣等市場概要を中心にご説明します。

BUSINESS MEETING 商談会

シンガポール、マレーシア、タイのバイヤー、および国内商社との商談会を開催。これから輸出に取り組む方々、今後輸出先の拡大を検討している方々も、ぜひご参加ください。

産地視察ツアーは商談会に参加の事業者が決まり次第、ツアー内容を調整いたします。

札幌会場

2025/8/27 水

セミナー 13:00~13:45
商談会 14:00~16:00(終了予定)

視察先 農林水産物・食品全般

開催場所 北海道新聞社1階 DO BOX EAST

札幌市中央区大通東4丁目1

参加人数 セミナー40名、商談会10社

※ 7月31日(木) 17:00

旭川会場

2025/9/9 火

セミナー 13:00~13:45
商談会 14:00~16:00(終了予定)

視察先 米・米加工品・日本酒を

中心とした農林水産物・食品

開催場所 旭川北洋ビル8階 小ホール

旭川市4条通9丁目

参加人数 セミナー30名、商談会8社

※ 8月7日(木) 17:00

釧路会場

2025/9/30 火

セミナー 13:00~13:45
商談会 14:00~16:00(終了予定)

視察先 牛乳・乳製品・水産物を

中心とした農林水産物・食品

開催場所 北海道新聞釧路支社5階 道新ホール

釧路市黄金町1丁目5-1

参加人数 セミナー30名、商談会8社

※ 8月28日(木) 17:00



お申し込みはこちら URL <https://survey.zohopublic.jp/zs/TuDTIL>

主催 農林水産省北海道農政事務所
運営事務局 北海道新聞社(お問い合わせ先:北海道新聞社営業局内 担当:赤坂・小谷)

※入力頂いた個人情報に関しては、本事業のみに使用いたします。



GFP北海道 輸出セミナー&商談会 産地視察ツアー



SEMINAR & BUSINESS MEETING PROGRAM
セミナー・商談会プログラム



開場 12:30

セミナー 13:00~13:45 「東南アジア向け輸出に関する成功のポイント」
講師:独立行政法人 日本貿易振興機構(ジェトロ)

休憩 約15分

商談会 14:00~16:00 シンガポール、マレーシア、タイのバイヤー、および国内商社との商談会を(終了予定) 開催します。(1バイヤーにつき20分~25分程度を予定)

産地視察ツアー

札幌会場

2025/8/28 木

旭川会場

2025/9/10 水

釧路会場

2025/10/1 水

※産地視察ツアーは商談会に参加の事業者様が決まり次第、ツアー内容を調整いたします。

※商談会の翌日、バイヤーを対象とした産地視察ツアーを開催いたします。視察ツアーの受け入れが可能な方は、登録フォームにてお知らせください。



※記載内容は変更になる場合がございます。

お問い合わせ

主催 農林水産省北海道農政事務所
北海道新聞社(お問い合わせ先:北海道新聞社営業局内 担当:赤坂・小谷)
TEL:080-8621-1942 E-mail:gfp2025@hokkaido-np.co.jp
北海道農政事務所事業支援課 TEL:011-330-8810

GFP登録はこちら



(参考)
全国版実績

2025年1-6月 農林水産物・食品の輸出額

2025年1-6月の輸出額は、対前年同期比+15.5%の8,097億円となりました。

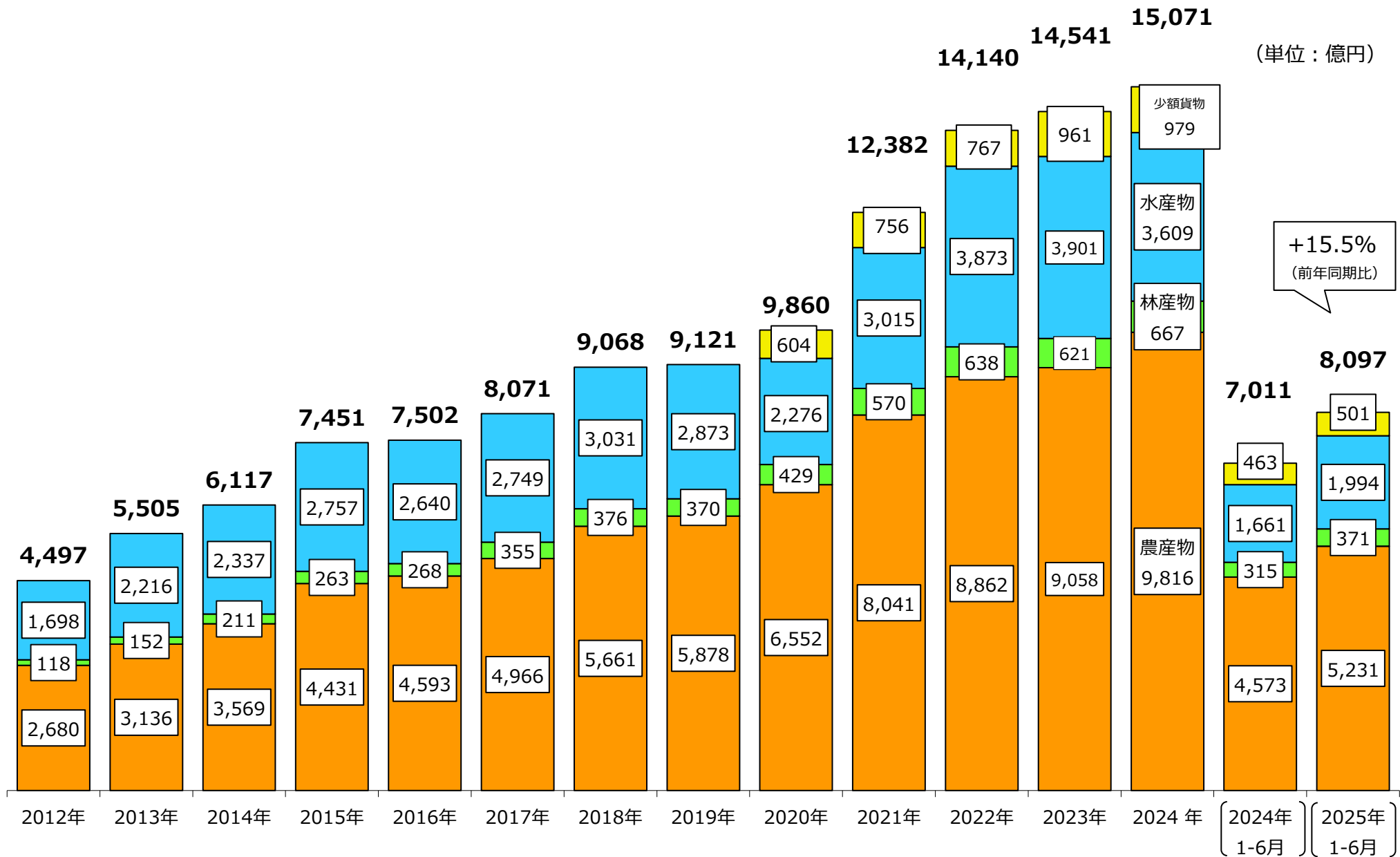
(2024年1-6月の輸出額：7,011億円)

	金額	前年同期差	前年同期比
1-6月累計 (少額貨物を含む)	8,097億円	+1,086億円	+15.5%
うち米国	1,410億円	+254億円	+22.0%
うち香港	1,068億円	+36億円	+3.4%
うち台湾	806億円	+70億円	+9.6%
うち中国	902億円	+118億円	+15.0%
うち少額貨物	501億円	+38億円	+8.2%

全体の状況（1-6月）

- 多くの国向けが対前年同期比でプラスを記録した結果、対前年同期比+15.5%と2024年を大きく上回りました。
- 4月から関税措置が導入された米国向けについても、ホタテ貝、緑茶、ぶりなどが大きく増加した結果、対前年同期比+22.0%となりました。
- 1-6月の輸出額としては、品目別では牛肉、緑茶、ぶりなどが、国・地域別では米国、台湾、韓国などが過去最高を記録しました。
- 関係者からの聞き取りでは、日本食レストランの増加、日本食への関心の高まり、インバウンドの増加による日本食の認知度向上、健康志向の高まり等が輸出増加の主な要因でした。

農林水産物・食品 輸出額の推移



2025年 1 - 6 月 農林水産物・食品の輸出額

品目別の状況（1 - 6 月）

輸出額の増加が大きい輸出重点品目

品目	増加額	主な増加要因
ホタテ貝	+109億円	米国向けが米国産ホタテ貝の減産に伴う日本産ホタテ貝の需要の高まりにより増加したほか、ベトナムやタイ等向けが中国の日本産水産物輸入停止による輸出先転換により増加。
緑茶	+104億円	欧米や東南アジア向けが、健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、ラテやスイーツ等の食品原料となる抹茶を含む粉末状茶を中心に増加。
ぶり	+51億円	米国向けが2024年夏の環境変化による成長の遅れに伴う2025年 1 - 6 月への輸出時期の後ろ倒しにより増加。
牛肉	+44億円	台湾、タイ向けが外食や小売を中心に新規商流の開拓により増加。
ウイスキー	+36億円	シンガポール、中国等向けが現地在庫の滞留の解消に伴い増加。
日本酒	+24億円	中国、香港等向けが日本食レストランの増加、インバウンドの増加による認知度向上等により増加。
ソース混合調味料	+24億円	米国、韓国等向けが日本食への関心の高まり、インバウンドの増加による認知度向上等により増加。
菓子（米菓を除く）	+18億円	米国、フィリピン等向けが多種多様な日本の菓子に対する人気の高まりを背景に増加。
清涼飲料水	+18億円	UAE、中国等向けが健康志向の高まりにより緑茶飲料や健康飲料を中心に増加。
錦鯉	+15億円	米国向けが認知度の向上等により増加したほか、中国向けが2024年 9 月の施設認定の更新による輸出再開により増加。

輸出額の減少が大きい品目

品目	減少額	主な減少要因
植木等	▲ 25億円	ベトナム向けが同国政府の輸入許可書の発行手続の遅延により減少。
なまこ（調製）	▲ 19億円	香港、台湾等向けが2025年 1 月の春節用として2024年12月に多く輸出された反動等により減少。
りんご	▲ 18億円	台湾、香港等向けが2025年 1 月の春節用として2024年12月に多く輸出された反動により減少。
ホタテ貝加工品	▲ 14億円	香港、シンガポール向けが2025年 1 月の春節用として2024年12月に多く輸出された反動により減少。

2025年1-6月 農林水産物・食品 輸出額（国・地域別）

順位	2025年1-6月							2025年6月				
	輸出先	輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）			輸出額 （億円）	前年 同月比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	米国	1,410	18.6	+22.0	903	42	465	252	+24.7	171	9	72
2	香港	1,068	14.1	+3.4	634	9	425	220	+1.8	114	2	105
3	中国	902	11.9	+15.0	683	184	35	150	+19.6	113	34	4
4	台湾	806	10.6	+9.6	609	22	175	128	▲ 0.6	102	4	22
5	韓国	507	6.7	+22.3	332	20	155	91	+17.0	65	3	23
6	ベトナム	394	5.2	▲ 1.9	202	3	189	68	▲ 3.4	29	1	39
7	タイ	367	4.8	+22.6	181	6	180	58	+6.5	33	1	24
8	シンガポール	264	3.5	▲ 0.4	220	3	41	47	▲ 0.3	40	0	7
9	ロシア	233	3.1	+1073.2	232	0	0	53	+1,179.1	53	0	0
10	オーストラリア	169	2.2	+13.1	148	1	19	33	+28.7	29	0	4
－	E U	454	6.0	+6.2	381	11	61	78	+12.9	64	2	12

輸出額の増加が大きい主な国・地域（1-6月）

国・地域	増加額	主な増加品目
米国	+254億円	ホタテ貝、緑茶、ぶり
中国	+118億円	丸太、日本酒、配合調製飼料
韓国	+93億円	インスタントコーヒー、ビール、いわし

輸出額の減少が大きい主な国・地域（1-6月）

国・地域	減少額	主な減少品目
オマーン	▲ 14億円	ソース混合調味料、木製家具
ベトナム	▲ 8億円	牛乳乳製品、植木等、清涼飲料水
グアム（米）	▲ 6億円	菓子（米菓を除く）、牛肉、ソース混合調味料

2025年1-6月 農林水産物・食品 輸出額（品目別）

品 目		金 額 (百万円)	前年同期比 (%)
農 産 物	畜産品	66,338	+1.9
	畜産物	54,394	+9.4
	牛肉	32,572	+15.5
	豚肉	1,337	+28.3
	鶏肉	997	▲ 13.4
	鶏卵	3,740	+9.9
	牛乳乳製品	15,748	▲ 1.2
	果樹・野菜等	29,437	+2.0
	りんご	4,740	▲ 27.6
	ぶどう	532	▲ 13.1
	もも	402	▲ 25.1
	かんきつ	623	▲ 18.0
	かき・かき加工品	228	▲ 18.4
	なし	7	▲ 63.8
	いちご	5,300	+22.2
	かんしょ・かんしょ加工品	1,747	+16.3
	ながいも	1,897	+20.1
	メロン	542	▲ 4.9
	たまねぎ	48	▲ 16.1
	穀物等	37,349	+9.0
	米（援助米を除く）	6,775	+22.6
	パックご飯等	961	+43.8
	その他農産物	89,996	+25.3
	緑茶	26,295	+65.3
	花き	3,937	▲ 39.1
	切り花	1,052	▲ 5.6
	植木等	2,793	▲ 46.8
	たばこ	11,049	+21.6

品 目		金 額 (百万円)	前年同期比 (%)
農 産 物	加工食品	278,468	+8.5
	清涼飲料水	30,250	+6.2
	菓子（米菓を除く）	16,418	+12.2
	米菓（あられ・せんべい）	2,850	▲ 2.3
	ソース混合調味料	34,063	+7.6
	味噌	3,581	+18.1
	醤油	6,483	+12.0
	アルコール飲料	77,665	+16.3
	日本酒	22,819	+11.8
	ウイスキー	28,919	+14.4
	焼酎（泡盛を含む）	980	+14.8
林 産 物	農産物計	523,143	+14.4
	林産物計	37,082	+17.7
	製材	4,836	+38.9
	合板	4,241	+24.2
	丸太	16,355	+22.7
水 産 物	木製家具	4,118	+8.6
	水産物（調製品を除く）	167,992	+29.5
	ぶり	25,710	+24.6
	たい	4,079	+24.1
	ホタテ貝	34,991	+45.4
	牡蠣	1,784	▲ 9.8
	真珠（天然・養殖）	22,286	+2.4
	錦鯉	5,901	+34.1
	いわし	10,822	+36.0
	かつお・まぐろ類	8,314	+8.9
	さけ・ます	2,462	▲ 10.3
	さば	8,324	+97.3
	さんま	311	+62.9
	すけとうたら	811	+30.8
	水産調製品	31,453	▲ 13.5
	なまこ（調製）	3,623	▲ 34.3
	練り製品	5,455	+1.9
	ホタテ貝加工品	4,520	▲ 23.2
	牡蠣加工品	634	+8.8
	水産物計	199,445	+20.1
農林水産物・食品		759,669	+16.0

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「パックご飯等」は、パックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品の合計。政府による食糧援助を除く。

※「ソース混合調味料」は、カレー調製品・マヨネーズ・ドレッシング・酢・ウスターソース類等の合計

※2025年から、「ソース混合調味料」には酢、「製材」には改良木材、「合板」にはLVLやブロックボード等を含む

※農産物計には、詳細の不明な農林水産物21,555百万円を含む

2025年6月 農林水産物・食品 輸出額（品目別）

品 目		金 額 (百万円)	前年同月比 (%)	
農 産 物	畜産品	11,569	+2.8	
	畜産物	9,658	+10.6	
	牛肉	5,944	+16.6	
	豚肉	243	+26.1	
	鶏肉	188	▲ 26.6	
	鶏卵	718	+21.6	
	牛乳乳製品	2,565	▲ 1.2	
	果樹・野菜等	4,250	+1.1	
	果 樹	りんご	356	+2.2
		ぶどう	248	▲ 27.6
		もも	234	▲ 39.6
		かんきつ	59	▲ 23.1
		かき・かき加工品	2	▲ 77.7
		なし	0	－
	野 菜	いちご	4	▲ 12.6
		かんしょ・かんしょ加工品	263	+22.6
		ながいも	399	+29.0
		メロン	115	▲ 33.5
		たまねぎ	7	+81.9
	穀物等	6,727	+4.2	
	米（援助米を除く）		1,265	+16.2
	パックご飯等		151	+1.3
	その他農産物		17,477	+54.1
	緑茶		5,628	+102.8
	花き	切り花	101	▲ 26.0
		植木等	107	▲ 19.6
		たばこ	2,492	+81.3

品 目		金 額 (百万円)	前年同月比 (%)
農 産 物	加工食品	49,211	+6.8
	清涼飲料水	5,397	+9.5
	菓子（米菓を除く）	2,930	+17.1
	米菓（あられ・せんべい）	567	▲ 6.2
	ソース混合調味料	6,240	+2.8
	味噌	635	+6.6
	醤油	1,241	+9.8
	アルコール飲料	13,293	+8.6
	日本酒	3,644	+2.8
	ウイスキー	4,885	+14.7
	焼酎（泡盛を含む）	141	▲ 3.1
林 産 物	農産物計	94,249	+18.8
	林産物計	6,996	+19.2
	製材	1,051	+47.9
	合板	877	+68.2
	丸太	2,911	+11.0
	木製家具	780	+15.0
水 産 物	水産物（調製品を除く）	30,723	+15.9
	ぶり	4,317	+34.4
	たい	812	+30.0
	ホタテ貝	4,434	▲ 5.3
	牡蠣	407	▲ 39.9
	真珠（天然・養殖）	6,306	▲ 0.8
	錦鯉	262	▲ 40.5
	いわし	1,937	+62.0
	かつお・まぐろ類	1,933	+9.8
	さけ・ます	472	+12.7
	さば	2,272	+109.8
	さんま	45	+44.6
	すけとうたら	260	+218.1
	水産調製品	5,726	▲ 15.6
	なまこ（調製）	542	▲ 38.4
	練り製品	979	▲ 6.1
	ホタテ貝加工品	549	+15.1
	牡蠣加工品	290	+15.2
	水産物計	36,449	+9.5
	農林水産物・食品	137,694	+16.2

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

※「バックご飯等」は、バックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品の合計。政府による食糧援助を除く。

※「ソース混合調味料」は、カレー調製品・マヨネーズ・ドレッシング・酢・ウスターソース類等の合計

※2025年から、「ソース混合調味料」には酢、「製材」には改良木材、「合板」にはLVLやブロックボード等を含む

※農産物計には、詳細の不明な農林水産物5,014百万円を含む

2025年 1 - 6 月 農林水産物・食品 輸出額（月別）

	農林水産物	前年同月比	輸出額内訳		
			農産物	林産物	水産物
1月	954 億円	+10.4%	672 億円	44 億円	238 億円
2月	1,287 億円	+20.2%	840 億円	62 億円	386 億円
3月	1,420 億円	+19.3%	977 億円	66 億円	376 億円
4月	1,345 億円	+14.8%	937 億円	65 億円	343 億円
5月	1,214 億円	+13.8%	863 億円	64 億円	287 億円
6月	1,377 億円	+16.2%	942 億円	70 億円	364 億円
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
計	7,597 億円	+16.0%	5,231億円	371億円	1,994億円

<少額貨物輸出額>

	少額貨物	前年同期比
1 - 6 月	501億円	+8.2%
7 -12月		
計	501億円	+8.2%

※少額貨物…輸出入申告の際、1品目20万円以下の貨物に関しては「貿易統計」に計上されておらず、別途調査を行っている。（1-6月、7-12月の年2回集計）

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※少額貨物は財務省調査を基に農林水産省作成